



学校だより (16)

事務所 947-3111 ・ 授業日 291-1591

◇<http://www.hjschl.org>

◇e-mail [info@hjschl.org](mailto:info@hjschl.org)

おさけのはなし

校長 福原輝幸

白玉の 葉にしみとおる 秋の夜の  
酒は静かに 飲むべかりけり  
(若山 牧水)

人は、お祝いと言っては酒を飲み、祭りと言っては酒を飲み、何か理由をつけては酒を飲んでいる。

孔子は、酒は大好きでしかも強かったと言われています。しかし「酒は量なく、乱に及ばず」と。飲んでも、決して乱れてはいけなと申べている。

また「酒、知己(ちこ)と飲めば千鐘(しょう)1鐘は500)も少なし。話、機(き)に投せざれば半句も多し」と。酒は、気の合った者同士で愉快(ゆかい)に飲むのが一番よいとも述べている。

仏典には「蛇は水を飲んで毒を作り、牛は水を飲んで乳を作る。患者は酒を飲んで狂水となし智者は酒を飲んで智水となす」とある。

文豪(ぶんごう)トルストイは「酒は悪魔(あくま)の悪巧(わるだく)みから生まれ人を獣(けもの)にするもの」と言っている。

さて、酔っ払いは、自分では「最高の状態」を言い、他人から見れば「最低の状態」を言う。

自戒(じかい)したいものである。

心の健康——山あり谷ありが健康——

先日、友人が講演記録を送ってくれた。その講演の一つに「閉塞した現代社会を考える——心の健康を考える」があった。

近年、日本では自殺する人が増えており、特に中高年の男性の自殺が増えている。モノもカネもそれなりにあるが、何かしら満たされない日本人の姿、外国と競争ばかりにとらわれてきた日本人の姿。これが今の日本、日本人の姿の一面である。

ところで、自分の子どもを他の子どもや兄弟姉妹と比較して、優劣ばかり見る傾向が日本人には強くある。その結果、モノやカネもあるのに子どもの居場所、心のやすらぎの場になっていない家庭が増えている。

生まれてから、親の望むように育ってきた子どもが、高校生ぐらいになると自立しようとして力に頼ることがある。小さい時によい子よい子として育ってきた子どもが、そのまま大きくなるとは限らない。むしろ、そのまま大きくなると思わない方がよい。

何か一つのこと打ち込んで来た人が「うつ状態」になりやすい傾向にある。「心の健康とは、いつもいつも元気という意味ではない。山あり、谷ありが健康である」

1年365日、健康と言うことはあり得ない。いくら気をつけていても風邪を引いたり、発熱する時もある。お腹の調子が悪くなることもある。山あり、谷ありが健康なのである。

(裏に)